

(別紙様式1)

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	飛騨市立神岡小学校		
実 施 期 間	平成26年10月22日(水)		
実 施 概 要	家族参観 ・保護者及びその家族、地域関係者の方へ全学級の授業(道徳の時間や教科など)を公開して、本校の教育活動の実情を理解していただくとともに、今後の学校行事等に対する協力への意識化を図った。 統合10周年記念講演会 ・創立10年目を迎え、校歌に込められた思いを作詞・作曲者の方からお聴きし、その思いを大切にしながら親子で校歌を歌った。		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
参 加 者 数	保護者及び家族	約280人	計 約 320人
	地域関係者	約 40人	
実 施 状 況	1. 自ら考え仲間とともにやりぬくたくましい神岡の子の育成を願って、全学級「道徳の時間」または「教科」の授業を公開した。 2. 飛騨市学習習慣確立指針である「話す人の目を見て、だまって最後まで聴くこと」や「結論に根拠を付けて話すこと」を参観の観点として提示し、授業を公開した。 3. 家族参観後に、本校校歌の作曲者および作詞者の方をお招きして、統合10周年記念行事講演会を行った。校歌を作ったときの状況や校歌に込めた願いなどについて、親子でお話を聴き、その後、参加者全員で校歌に込められた願いを大切にしながら歌った。		
成果及び課題	【成果】 1. 児童の「話す人の目を見て、だまって最後まで聴く姿」や「結論に根拠を付けて話す姿」が、1学期よりも増えている。 2. 授業公開に向けて、国語の授業を中心に終末からの授業改善に努め、児童のゴール像をイメージし、より児童の心に迫れる授業づくりをめざしたことで、児童が見通しを持って授業に取り組んでいた。 3. 歌詞には「私たちのふるさと神岡」への思いがたくさん込められていることを知ったことで、これからも校歌を大切に歌っていこうとする気持ちを親子で持つことができた。 【課題】 1. 結論に根拠を付けて話す姿は増えているが、仲間の考えにつなぎながら考えを深めていくような発言ができるよう、発問に対して1人で終わらせず、3人発言を心がけていく。 2. 学力向上のための指導改善プランをもとに、終末からの授業改善に一層努める。 3. 今後も親子で一つのテーマについて考える機会を提供する。		